

第3種登録チーム指導者の皆さま

公益財団法人北海道サッカー協会  
第3種委員長 大石橋 計幸

## 2024年度シーズン開幕に向けて

日頃より、本協会事業へご理解とご協力を賜り、お礼申し上げます。

皆さまにおかれましては、来たる2024年度シーズンに向けて、お忙しい日々をお過ごしのことと存じます。

引き続き、第3種年代のサッカー環境がより良いものになりますよう努力してまいります。よろしく願い申し上げます。

さて、先週23日、第3種委員会・15地区FA第3種委員長会議を開催し、諸事決定いたしました。新しく制定した規程や、これまでの規程を修正した内容につきましては、別添のファイルでご確認ください。

下記の通り、今春から大きな変更となりますことを中心に取り急ぎお知らせいたします。ご不明な点がございましたら、所属地区FA第3種委員長または大石橋へお問い合わせください。

### 記

- 同日・連日において、プロテクト外選手であっても別リーグ戦に出場することを一切不可としてきましたが、出場時間合計が1試合分以内であれば、これを可能とします。諸条件があります。新規程をご確認ください。ねらいは、例えばチーム内の11番目や12番目のFP選手だけがシーズンを通して試合出場時間が短くなるという現状を改善したいからです。なお、同日開催の別リーグ戦の会場へは自家用車で数時間かかる、ということもあろうかと思えます。指導者の皆さまが勝利至上主義に傾くことなく、安心安全なリーグ戦運営にご協力をいただくと信じております。なお、プロテクトFP10名の考え方には変更ありません。ブロックカブスリーグ・地区カブスリーグにおいて、例えばA選手の今日の出場時間は後半のみの2点、明日の異なるリーグでは半分未満の1点または半分の2点の出場予定、ということの集約方法やエントリー用紙の書式の工夫等については、リーグ戦開幕までには決定し、各リーグ戦担当者から周知いたします。
- ブロックカブス決勝大会兼道カブス参入戦と地区カブス決勝大会につきましても、GK1名を含めた16名のプロテクトから、11名+当該リーグを主戦場としていなかった選手をプロテクト、という方法に変更いたします。16名では当該リーグを主戦場としてきた選手が出場できない場合もあることを改善するためです。
- U-13年代のリーグ戦は、年間を通じて、交代の手続を必要としない、一度退いた選手が再び出場できる自由な交代とします。U-15リーグ戦に比べて、さらに多くの選手へ出場機会を提供するためです。
- 高円宮杯2枠目(2024年度も2枠)を争うプレーオフの実施を望むお声があることを承知していますが、継続協議事項とし、少なくとも2024年度は実施しません。なお、プレーオフとは直接関係ませんが、JFAより、暑熱期間(7・8月)にリーグ戦を極力設定しないことや、実力が拮抗したリーグ戦の構築という観点からリーグ戦構造をより良いものにするための熟考を求められる時代となりました。なお、義務教育年代である中学生の夏休み中に設定される全国大会とリーグ戦とを比較するべきではないことを申し添えます。
- 「U13北海道カブスリーグ3部」以外、すべてのリーグ戦で合同チームの出場が可能となります。改訂した2規程をご確認ください。また、合同チームや拠点校方式による大会参加が増え、新たな地域クラブも多く発足することが予想されます。「北海道カブスリーグ1部&2部」以外、すべての大会で、大会参加申込時の背番号のユニフォームが未着の場合、不揃いの場合等は、ブロックカブスリーグ実行委員長や地区FA第3種委員長に、臨機応変に対応していただくように依頼済です。ご安心ください。以上